

「世界不況下のトヨタの取組みと課題」

2009年7月16日

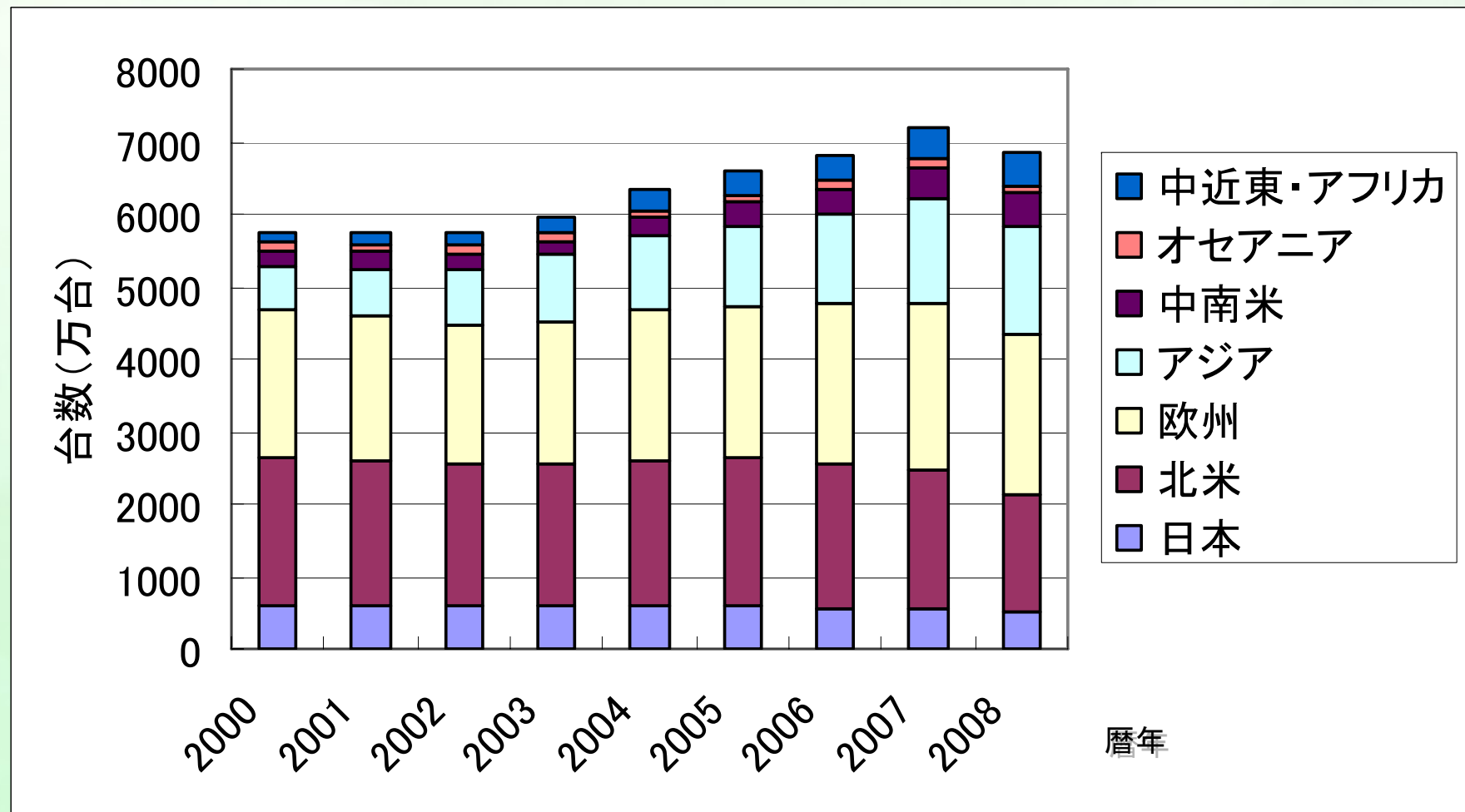
トヨタ自動車株式会社

常務役員 早川 茂

本日の説明内容

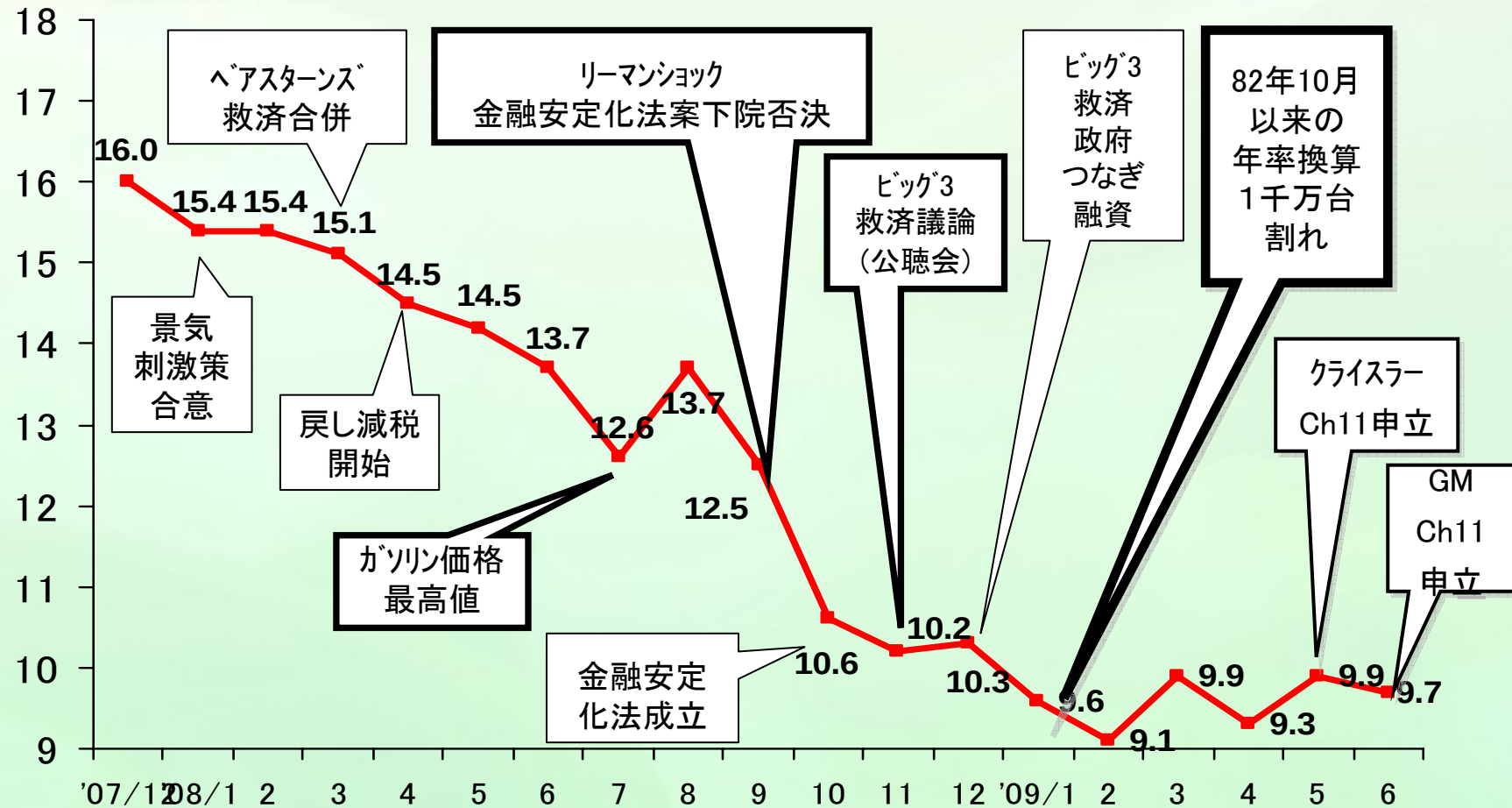
1. 世界の自動車市場の状況
2. 当社の状況
3. 当社の取組み
4. 政策要望

1. 世界の自動車市場の状況

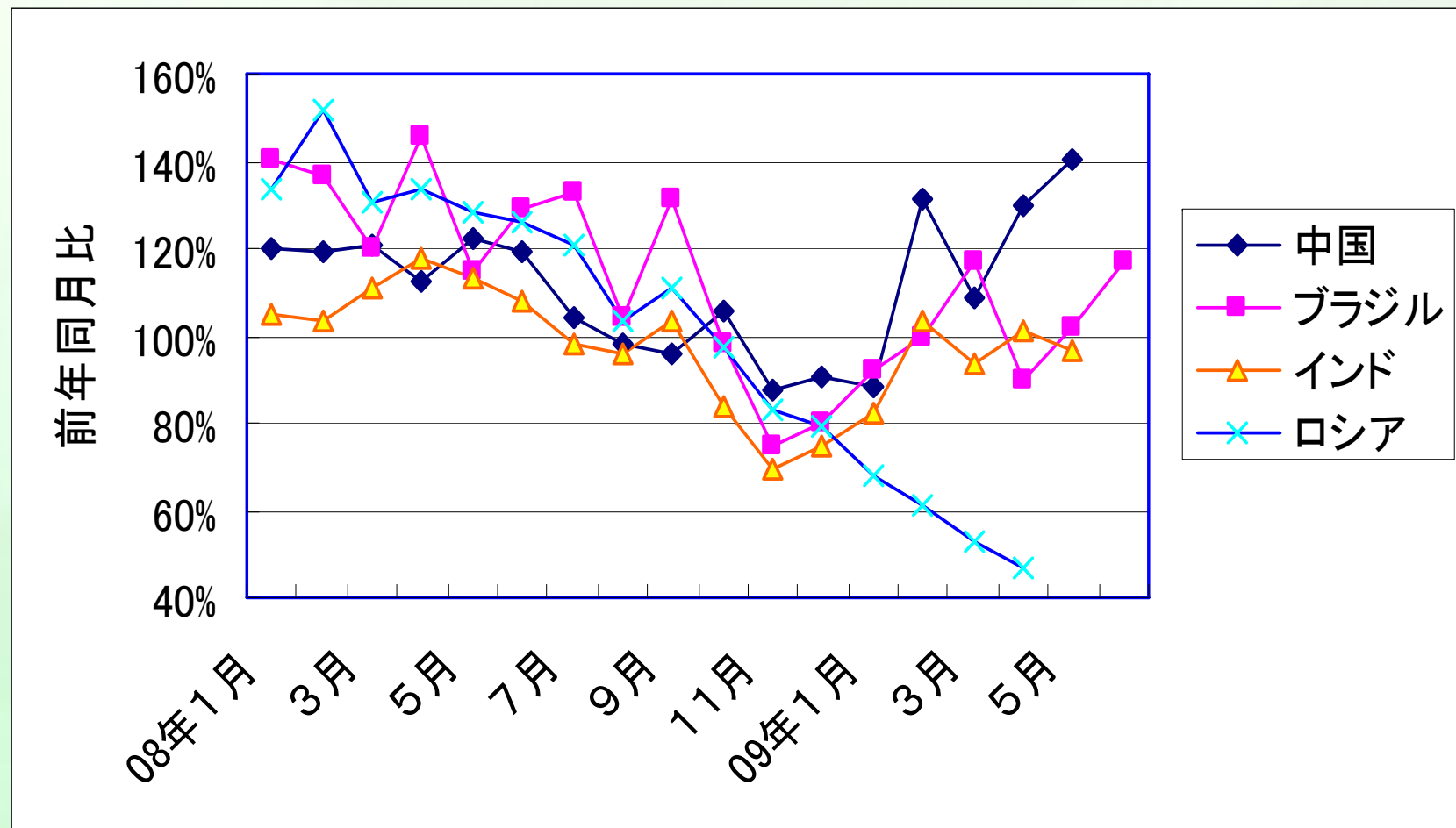


米国自動車市場推移(年率換算)

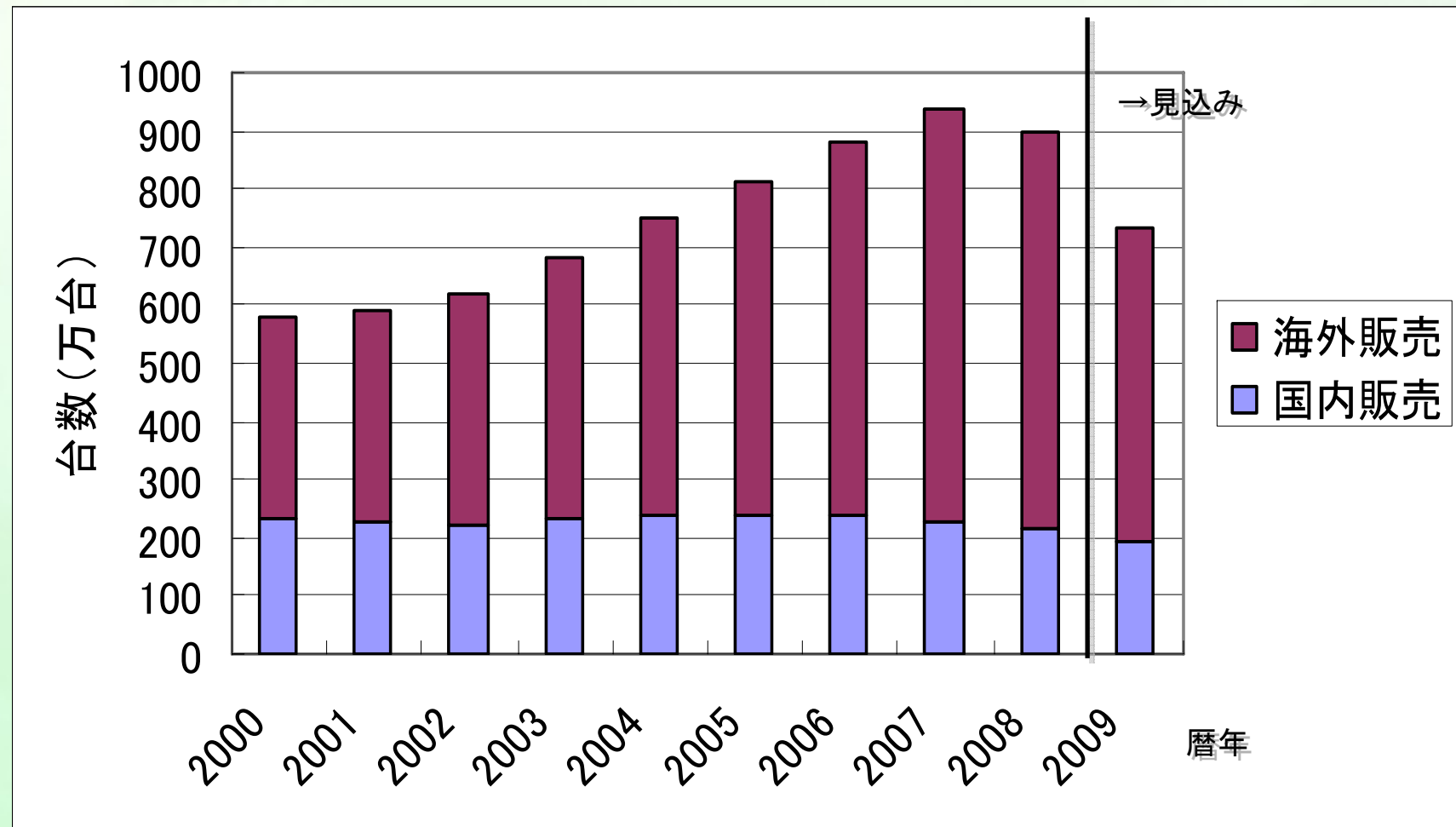
百万台



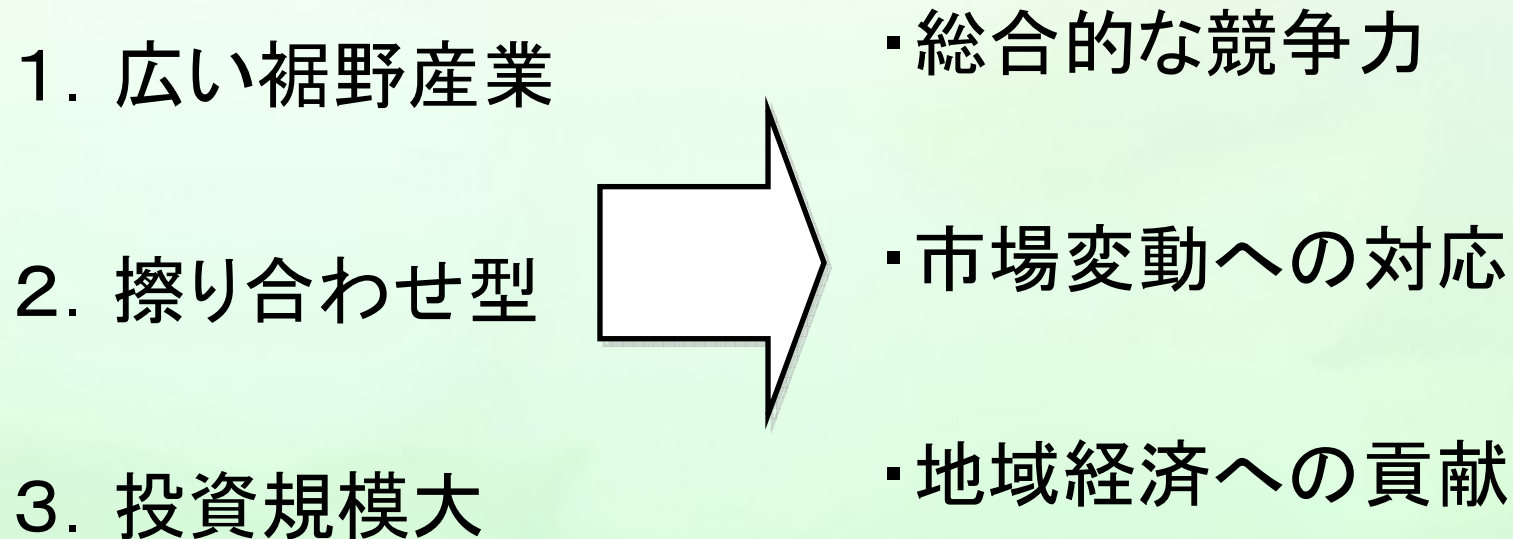
BRICsの自動車市場



2. 当社の状況



自動車産業の特性



3. 当社の取組み

1. 当社の創業以来の理念の徹底

▽ 「クルマづくりを通じて地域社会に貢献する」

2. 商品を軸とした経営

(1) 地域ごとのお客様ニーズに応じた商品展開

日 本：商品性/バリエーション強化、必要十分なラインアップ

米 国：大型車中心の市場からの構造変化に対応

欧 州：HVに徐々に軸足を移す

新興国：競争力のある商品のタイムリーな投入

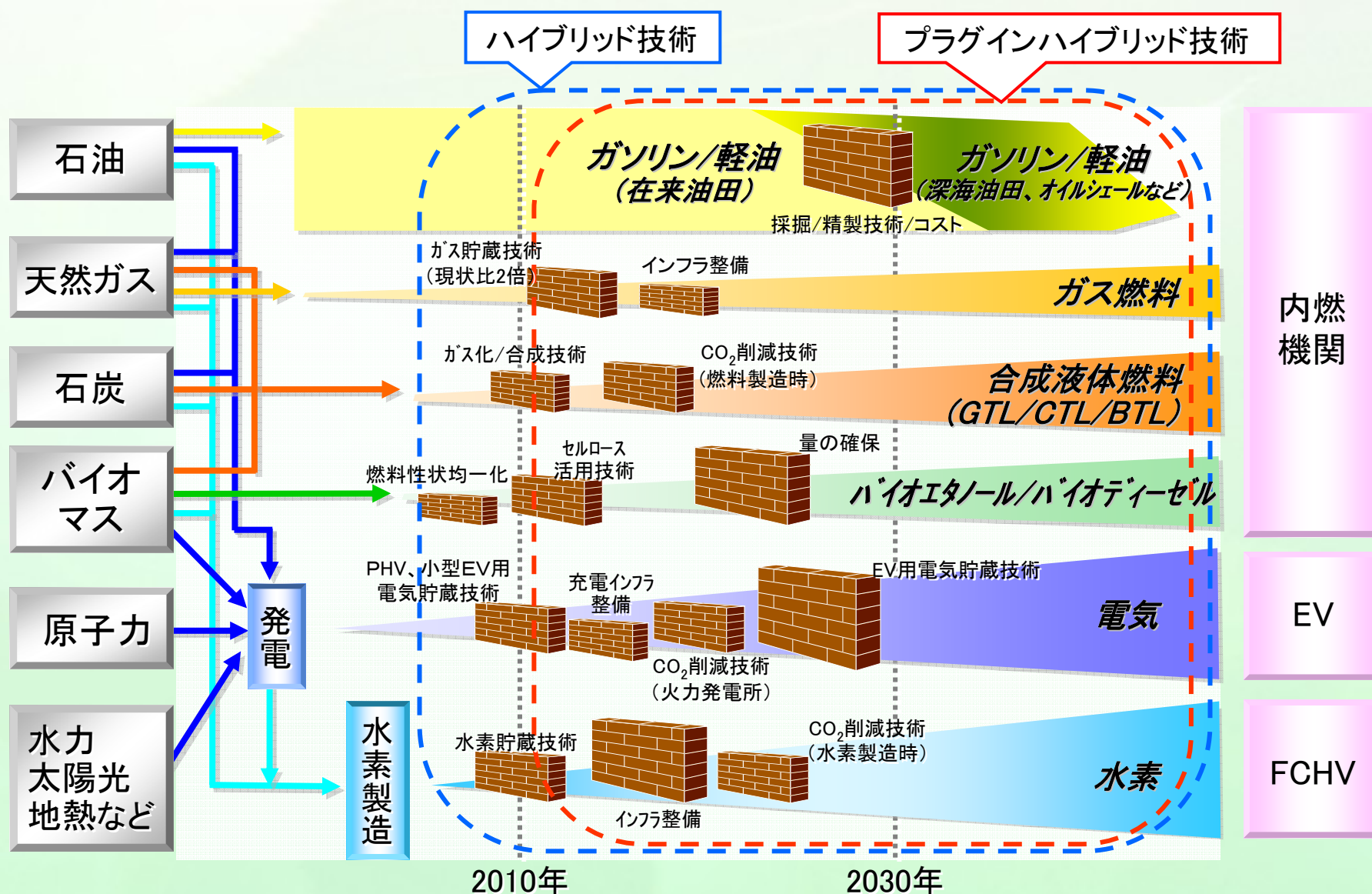
新開発小型車の投入（インドから）

(2) 環境技術開発の推進

(3) 運転が喜び/感動となる商品/技術の開発

環境・エネルギー問題への対応

9



TODAY for TOMORROW

TOYOTA

電気自動車(EV)への取り組み

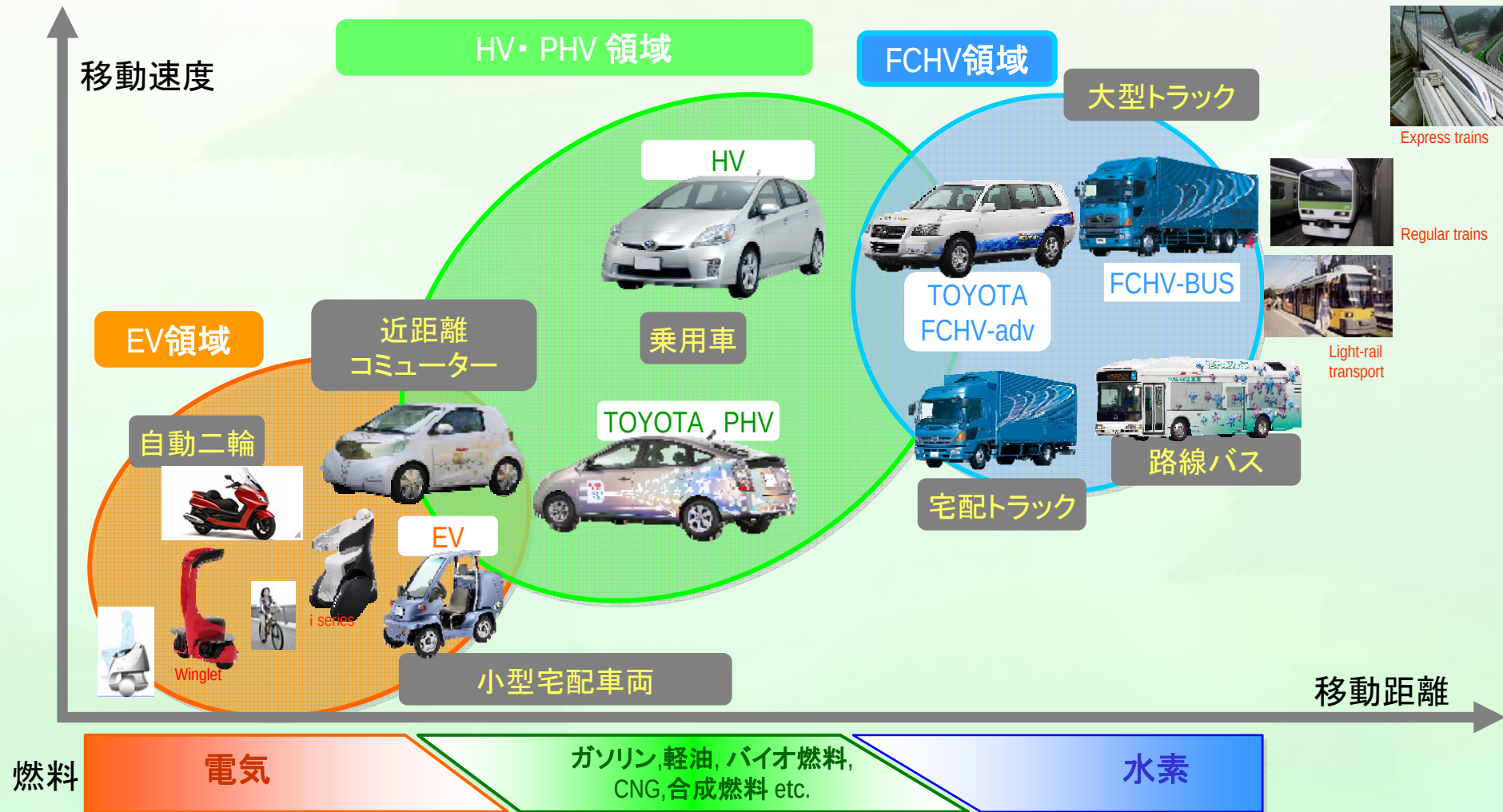
10



【EVの課題】 ①航続距離、②コスト、③充電時間、④専用充電インフラ
⇒当面、近距離通勤ターやパーソナルモビリティが現実的

将来のエコカーのゾーニングイメージ

11



EV:近距離通勤用、HV or PHV : 乗用車全般、FCHV: 中長距離用途

4. 政策要望

1. 短期

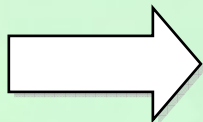
- (1) 市場刺激策
- (2) 保護主義への対応

2. 中長期

- (1) 次世代先進環境技術開発に向けた産官学の連携強化、拡充
- (2) 貿易/投資の自由化/円滑化
 - ① WTO/EPAの推進 ② 基準認証の調和
- (3) 企業の財産権の保護
 - ① 移転価格課税に伴う二重課税防止 ② 知的財産保護

各国の自動車市場刺激策概要

	期 間	内 容
仏	08/12-09/11	廃車代替補助金支給
独	09/1-12	廃車代替補助金支給
日本	09/4-12/3	低炭素車普及促進税制
	09/4-10/3	環境対応車普及促進対策補助金
米国	09/2-12	新車購入時のsales taxを所得税から控除
	09/7-12	廃車代替補助金支給

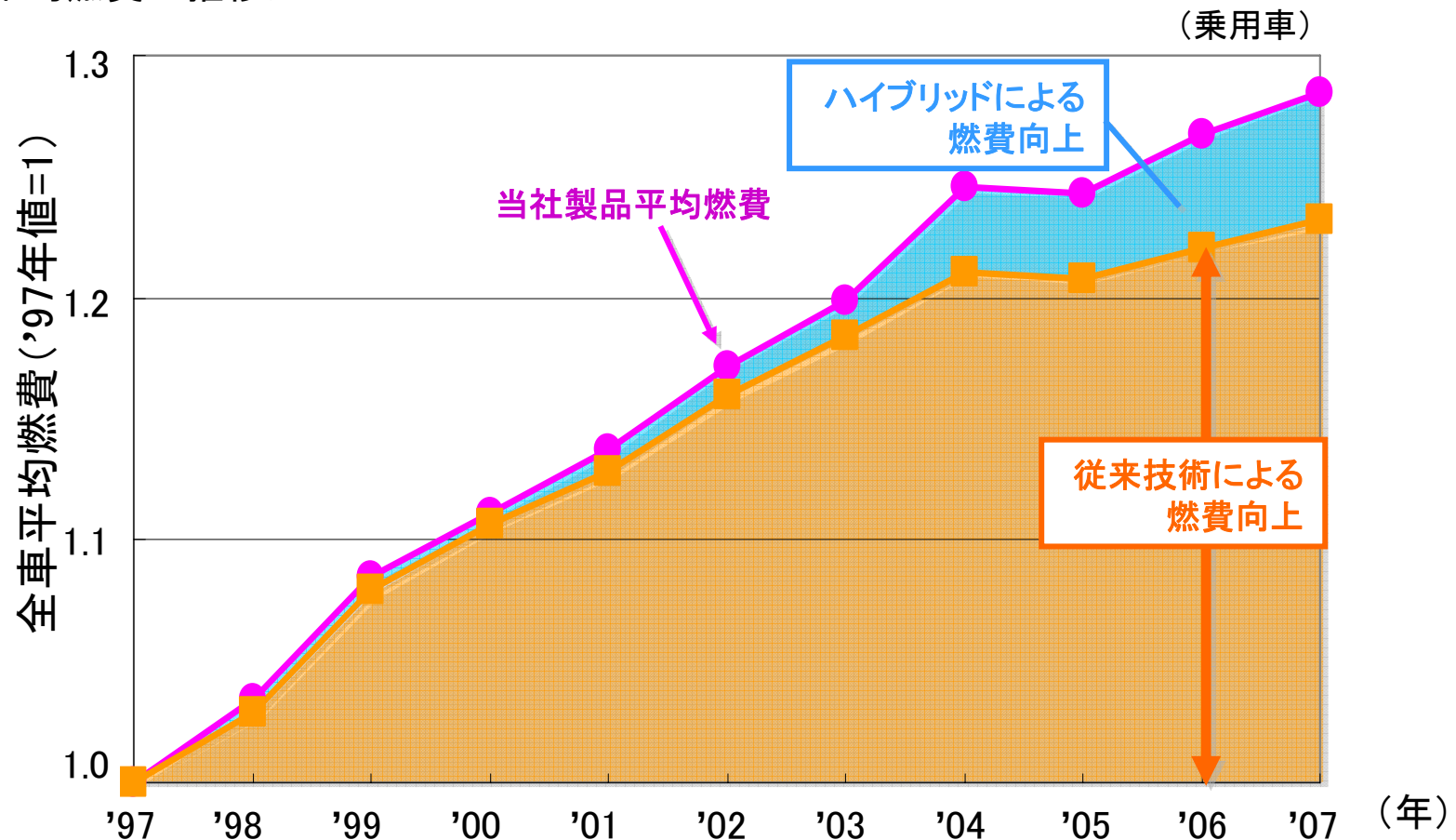


市場刺激/CO2抑制の取組み継続

当社製品の燃費向上実績

14

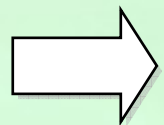
＜平均燃費の推移＞



日本において過去10年間で全車平均燃費が28%向上

環境技術開発の促進

	日 本		米 国	
リチウム	次世代自動車用 高性能蓄電システム 技術開発	25億円 (×5年)	電気自動車技術 発展補助金	4億 ドル
ポスト リチウム	革新型蓄電池先端 科学基礎研究事業	29億円 (×7年)	最先端バッテリー生産の ための補助/融資	20億 ドル



次世代先進環境技術開発に向けた産官学の一層の連携強化、拡充



以上